

平成23年2月1日
国土交通省北陸地方整備局
金沢河川国道事務所

「第2回 梯川水系有識者委員会」議事要旨

平成23年2月1日(火)に、小松市内で「第2回梯川水系有識者委員会」が開催されました。委員会では住民意見聴取結果と河川改修に係る現状に関する審議が行われました。議事要旨は次のとおりです。

◇出席者:11名(敬称略・専門分野別五十音順)

氏名	専門分野	所属
鈴木 洋之	河川工学	石川工業高等専門学校准教授
辻本 哲郎	河川工学	名古屋大学大学院教授 梯川リバーカウンセラー
佐野 修	自然環境(魚介類)	石川県自然史資料館 石川県淡水魚類研究会代表
竹田 伸一	自然環境(鳥類)	日本野鳥の会石川 事務局長
古池 博	自然環境(植物)	石川県自然史センター専務理事 石川地域植物研究会会長
池本 良子	水質	金沢大学教授
関戸 信次	文化財	小松市文化財調査委員長
村島 和男	農業水利	石川県立大学教授
和田 慎司	地域社会	小松市長
酒井 悌次郎 (代理:能美副市長 高塚 善衛)	地域社会	能美市長
北出 隆一	水防	小松市消防団長

◇欠席者:1名(敬称略・専門分野別五十音順)

氏名	専門分野	所属
中村 浩二	自然環境(生態学)	金沢大学環日本海域環境研究センター長

議事要旨

住民からの意見聴取結果の報告について

- 住民意見聴取の回収率が低いことから、次回（素案ができた段階）実施する住民意見聴取時には工夫が必要である。
- アンケート用紙で説明されている内容が一部わかりづらい部分もあったが、アンケートの配布により国土交通省はこんなことをやっているということを紹介する効果があったと思われる。
- 梯川流域の水利用を一般の方にご理解いただくために、頭首工の位置やかんがい面積等をわかりやすく説明していく必要がある。
- アンケートの集計で回答者の居住している地区がわかるようであれば、地区ごとに強い要望がないかチェックを行う。

河川改修に係る現状の補足説明について

- 河川整備基本方針では治水、利水、環境の3つの柱があるが、今回の資料では治水が主となっている。利水、環境面についても治水と合わせて具体化すること。
- 今後、河川整備計画策定の過程で示される整備のメニューについては、1つに絞らずに自由に考えることができるよう、複数案を並べる必要がある。

その他

- 現地見学会は持ち越しとなり、次回委員会は長時間となると思われるが、議論する時間は2時間程度確保すること。